

JEAS
in
Shiga

環境アセスメント士受験のヒント

生活環境部門(2006年)・自然環境部門(2007年)
金沢正文



【会社紹介】

私の勤務する東レエンジニアリング株式会社は東レ株式会社の工務部門を母体として昨年創立50周年を迎えました。エンジニアリングとエレクトロニクスに強みを持つE&Eを特徴としており、現在は環境とエネルギーを成長分野とした新たなE&Eに取り組んでおり



東レエンジニアリング(株)
TEL.077-533-7267
<http://www.toray-eng.co.jp/>

ます。その中で、私の部署であるアセスメント室は従来の環境アセスメント事業だけにとどまらず、環境分野におけるソフト事業という切り口で新たな事業展開を模索しております。

【自己紹介】

業務ではお客様、現場、住民、行政のすべてに担当者としてぶつかっていくことから、業務が順調に進むまでの苦しさはいつも変わりません。しかしながら、それだけに業務をやり遂げた時の充実感は何ものにも代え難いものがあります。

当初はゴルフ場農薬予測などの水質関係を担当しておりましたが、オオタカ問題とともに自然環境にも経験を積んできました。最近はアセスメント以外の業務にも多く関わっております。

【受験紹介】

初年は生活環境部門でしたがJEAS受

験セミナーに参加した以外、ほとんど受験勉強はできませんでした。

というのは当時、技術士(建設部門)の受験勉強を進めており、環境アセスメント士の準備まで手が回りませんでした。結果として何とか合格できたことから、技術士と環境アセスメント士の同時受験はお勧めです。翌年の自然環境部門では受験セミナーをきちんと聞いて過去問を準備すれば十分でした。

【おわりに】

皆さんもご指摘されるように、環境アセスメント士の資格によるメリットを感じる機会が今後も増していきますように、環境アセスメント士としての自覚のもと、地位向上に貢献できるように日々研鑽を重ねていきたいと考えております。

JEAS
in
Niigata

大気質調査でのスノーラッセル

生活環境部門(2005年)
服部卓生



私の勤務する財団法人上越環境科学センターは、1972年12月に新潟県と上越地域旧22市町村(現在は上越市、糸魚川市、妙高市)並びに地域の経済団体の基金を基に、民間の検査機関として設立された公益法人です。当センターでは環境に関わる分析・調査・環境アセスメント等を通して、地域におけ



(財)上越環境科学センター
TEL.025-543-7664
<http://www.jo-kan.or.jp/>

る快適な社会環境づくりの支援や、環境汚染の未然防止、自然環境の保全に積極的に取り組んでいます。

私の所属する環境部は公共事業、各種開発事業、廃棄物関連事業等に係る環境アセスメントや各種計画策定業務を行っており、数多くの実績があります。自然環境保全及び廃棄物関連等の開発整備事業に対しては、調査から予測、評価及び公開手続きまで一貫してお応えできる体制を整えております。

今冬、新潟県と長野県の県境で大気質調査を行う機会を得ました。積雪深が1.5m以上ある地点で、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、PM2.5、地上気象(風向・風速)を測定しました。調査地点まで100mほどを雪中行軍し、測定機材を測定サイトに手搬入しました。調査期間中では、1晩で30cm以上の降雪があり、測定サイト周辺の除雪、測定

サイトの雪下ろしなど、大気質調査とは関係のない雪国ならではの作業を行う減多に

ない経験をしました。

環境アセスメント士は、自分のスキルアップには欠かすことのできない資格です。本資格の取得をきっかけに技術士(環境部門)にも合格することができました。今後は、本資格の継続教育制度250CPD単位/5年間の取得を利用して自己研鑽に励みたいと思っております。

環境アセスメント士の社会的な認知度は高まりつつあるようですが、業務受注のため各方面において環境アセスメント士が入札参加資格要件になることを期待します。皆さんも環境アセスメント士に挑戦してみたいはいかがでしょうか。